

対象とのかかわりを深めながら 自分を高めていく子ども

社会科授業の「学習材」としての新聞記事活用を通して

指定校 2 年次 岡谷市立神明小学校 小口貴一郎

一 本校の新聞活用（NIE）の現状

本校では、2011年度から NIE の指定校として新聞を学校生活の中で活用させてもらっている。朝の会などで新聞記事を話題にしたり、記事をもとに読み取りの宿題を出したり、記事の書き取りに取り組んだりしているクラスもある。今年から受け持たせてもらった 5 年生の子どもたちの新聞との関わりは、学年に一紙届けられている新聞に時折目を向ける子どもたちがいたが、じっくり読んでいたり、子どもたちから話題にしてきたりする姿はあまりなかった。また、授業では、元気よく自分の考えを発言できる子たちは多いが、思いつき、感覚的な発言が多く、じっくりと考えたり、根拠をはっきりさせたりする意見は多くなかった。

二 実践のねらい

NIE を実践していくにあたって、最も期待していたことは、子どもたちの目を社会（世の中）に向けさせることと、じっくりと物事を考え深めるきっかけになれば、ということである。低学年では、新聞の写真などだけでもその日、その時期に合ったものを感じ取ればそれだけでも意味があると考えた。高学年では、それだけでなく、興味のある内容の記事をじっくりと読んだり、それに対する自分なりの考えを話したり、書いたりする中で、自分の世界を広げ、じっくりと物事を考える力を養いたいと考えた。

三 研究の概要

1 新聞の提供状況

本校では毎日、新聞を提供したのは中学年以上である（低学年は希望する日に）。3

- ・ 4 年生の廊下、5・6 年生の廊下にその日の新聞を展示し（長机に置く）、興味を持った子どもたちが自由に読めるようにした。

2 活用事例

- ・ 新聞スクラップ：スクラップ用紙とハサミ、のり、筆記具を新聞コーナーに常備し、前日までの新聞なら自由に切ってスクラップしてよいことにした。当日の新聞は机の上に広げるが、前日までのものは隣に箱を用意し、その中に入れておいて、自由にスクラップできるようにした。
- ・ 感想交流ノート：新聞コーナーに 1 冊のノートを常設し、新聞記事や、その日の出来事について自由に思ったことを記入できるようにした。ルールは一つ、「周りの人たちの心を傷つけることは書かない」とした。なかなかはじめは子どもたちが書く姿は少なく、教師が書くことが多かったが、スポーツ関係や、震災関係のことについて次第に子どもたちが書くようになりつつある。そのノートへ書いたことから教師がその子と話をするきっかけにもなっている。
- ・ 宿題での活用：「こどもニュース」などを中心に、記事の読み取り問題、その記事についての自分の感想を書くなどの宿題を定期的に出すようにした。特に一生懸命に取り組

んでいる学年では、その宿題をきっかけにして子どもと親との会話も多くなり、「新聞を使った宿題が家庭での話題になることが多くなった」との声が寄せられるようになった。

- ・その他：国語や社会科を中心に授業での調べ学習や中心資料（学習材）として多くの場面で活用してきた。

3 授業場面での実践事例

社会科の授業での「学習材（中心資料・教材）」としての新聞記事活用

本校では授業づくりにおいてその時間の「学習材」の選定・扱いをとっても大切にしている。それぞれの指導場面で、何を「学習材」として子どもたちに提示し、それにどう向かい合わせるか。学習材の内容や質が子どもたちの学びの広がりや深まりを大きく左右する。本年度自分自身の授業では、「学習材」として新聞記事を活用してきたが、この「学習材」が子どもたちの学びの深まりを支えるものであったかどうかを振り返ってみたい。

(1) 5年社会科「わたしたちの暮らしと工業生産～岡谷精密工業～」(10/12)から

①授業の実際

学習問題「岡谷精密工業はもっと利益を上げるために金型も売った方がいいのではないだろうか」を追究していく上での学習材として授業後半に、「ピアスキャッチの記事（市民新聞）」と「菊永社長（ピアスキャッチの製品化を岡谷精密工業に依頼した販売会社）の手紙」を提示した。

<p>41 HY</p> <p>教師 24</p> <p>つぶやき</p> <p>(しばらく)</p> <p>くども</p> <p>たちが自由</p> <p>に言い合</p> <p>う)</p> <p>教師 25</p>	<p>私は売らない方がいいと思って、それはお金のために工場をつくったわけではないし、新しい製品をつくったときが嬉しい。</p> <p>お金のために工場をつくったわけではない。</p> <p>お金のためじゃないの？</p> <p>「お金のためだよ。社員がいなくなっちゃうよ」</p> <p>「そうだよ。社員がいなくなっちゃうよ」</p> <p>「目標がお金のためじゃないんじゃない？」</p> <p>「そう、目標・・・」</p> <p>「お金がないと働けないけど・・・」</p> <p>「お客さんが喜んでくれるため」</p> <p>「最初はお金のため？」</p> <p>「最初はそうだけど、だんだんお客さんとか喜んでくれたり、そういうのが見たくて続けているんだと思う」</p> <p>「でもね、お金がなかったら・・・」</p> <p>「でも、それだけじゃないよ！」</p> <p>「お金がまず必要だよ。社員がいなくなる」</p> <p>お金が必要っていうことはいい？ これはいいな。</p>	 <p>岡谷精密工業の製品</p>
--	--	---

	でもそれだけじゃないって言うこと？（少しうなづく）
	野田社長さん何の時が一番嬉しいって言ってたっけ？
42 FK	注文が来たとき。あっ！初めて新しい部品が完成したとき。
教師 26	そうっていたね。もちろんお客さんが喜んでくれるからだよな。 ちよっとね、先生も一生懸命これ考えたんだけどね。これ覚えている？ （ピアスキャッチ）これにまつわる記事があるんだよ。（えっ！）もしかしたらみんなの学習問題考えるきっかけになるのかも知れない。お金のためじゃない。まずお金がないとだめだよな。〈学習材として記事を配る〉 〈記事を読む〉 C：「すごい」 〈菊永さんからの手紙〉 C：「わあ」「すごい」
教師 27	何かヒントになったかな。C：「なった」思ったこと言ってくれるかな。
43 OS	ええと、お金のためじゃなくて、お客様の喜ぶのとかを見たいからやっぱその
教師 28	やっているんだと思う。 なるほど。売り上げも大事だけど、それだけじゃないんだね。

② 授業を振り返って

記事と手紙、二つの学習材を提示し教師が読み聞かせたことで、岡谷精密工業が「ピアスキャッチ」という誰もが本気になって製造しようとしなかった製品に果敢に挑戦していき、新しい製品を生み出したことから、「すごい」という反応で、岡谷精密工業が目先の利益だけにこだわっているわけではないと感じ取ることができたと思う。43OS「お金のためだけじゃなくて、お客様の喜ぶのとかを見たいからやっぱそのやっているんだと思う」という発言からも新たな価値に気づく資料としてはとても有効であったように思う。しかし、子どもたちの「すごい」という反応の中身を吟味し合う場がなかったことから、それが本当にどれだけすごいことなのか、科学的な検証をせずに終わってしまっている。そのため、とても情緒的な「すごい」で終わってしまっている子どもたちも多くいたのではないかと思われる。「どの企業でも扱ってもらえなかったのはなぜか？」「なぜ販売までわずか2ヶ月の間に製品化が可能なのか？」「岡谷精密工業は、なぜ菊永社長の提案を受けたのか？」などについて考えが及んだ上での「すごい！」を実感させたかった。やや教師からの提示が一方的だったという反省点もあるが、それ以上に学習材を提示した後、どれだけその学習材について子どもたちに考え深めさせる場をつくり出せるかが一番大切なポイントであったと思う。

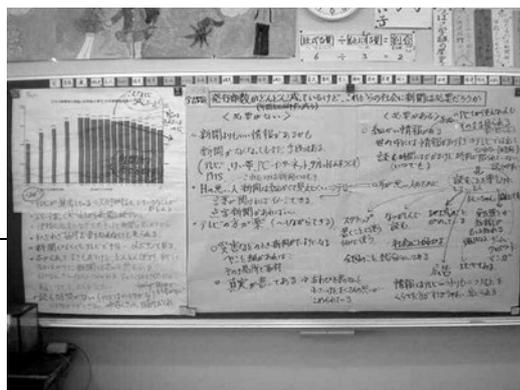
(2) 5年社会科「わたしたちの暮らしと情報化した社会～新聞の働きを通して～」

(2 / 15) から

① 授業の実際

学習問題「発行部数がどんどん減っているのに、これからの社会に新聞は必要だろうか」について考え合う中で、「新聞は地域の情報も大切にしている」という視点から子どもたちが追究を深めようとしていく場面に学習材として『はらむらコロッケ』の記事（信毎諏訪地域面）を提示しようと考えていた。しかし、子どもたちからは「新聞には地域の情報がテレビなどよりも詳しく載っている」などの発言があったものの、教師がそれを

その場での学習課題として設定できずにいたことから、本時の中では提示ができずに終わってしまった。しかし、授業記録を見返してみると、この学習材を提示すべきタイミングがあったように思う。



22	NH	新聞には時間というものがないから・・・テレビには番組とかあるから自由にできない。
23	NS	新聞は耳が聞こえない人でも読めるから必要だと思います。
25	MK	目の悪い人は新聞の字が細かくて読みにくいって言ったけど、他にも障害のある人はいるから、目の見えない人には新聞はだめだけど、他の障害の人には新聞は必要。
26	NH	似ていて、世の中には情報がありすぎて出し切れないけど、新聞だと時間が（制約が）ないから新聞があった方がいい。読む時間はかかるけど時間が限られてないから。
27	MK	似ていて、読む時間がかかるけどって言うのは、たぶんその読むことを楽しみにしている人がいると思う。だから必要がある。
28	教師	MK君の言ったことわかる？つなげられる人いる？
29	OS	読むことを楽しみにしているっていうので、おばあちゃんやおじいちゃんをよく新聞を読んでいて、もし新聞がなくなったらおじいちゃんとかはテレビも見るんだけど、新聞の方が多くて、 <u>新聞は地域のこともいっぱい載っているけど、テレビだと地域のことはそんなになくて、地域のことを知れるから新聞は必要だと思うし、子どもも5, 6年とかになると新聞の勉強もやっているから、勉強とか知識を得られるから必要だと思う。</u>
30	SO	情報を懐かしんでいる人もいるかもしれないから必要がある。
31	MK	読むことを楽しみにしているっていうので、子どもだったら子ども新聞とか、パズルみたいな問題っぽいのを楽しみにしている人もいると思う。
32	HS	テレビだとその情報を取り出すのは難しいけど、新聞だと切ったりスクラップにして情報を取りだして、書いたりするのに利用できるいろいろなことに使えて便利。
33	TY	四コマ漫画とかを楽しみにしている人もいる。
34	OS	そういう楽しみもあるけど、子ども新聞だと勉強に加わるっていうか、社会面に関しても載っているから、やっぱり新聞があってもっと知れることが沢山あるから、必要だと思います。
35	SO	先生が北中の先生が新聞を読んでいるから頭がいいって言ってたけど、未来の子どもに対しては、新聞があった方が頭が良くなるっていう感じがあるのであった方がいいと思います。
36	MK	おじいちゃんたちにとっては囲碁とか将棋とかそういうのを見る楽しみもある。子どもとかおじいちゃんとか、誰でも楽しめる。

- 37 OS 知識とか勉強面なんだけど、最初の面は読まないかも知れないんだけど、その後には将棋とかおじいちゃんでも読むようなことが書いてあって、読まないかも知れないんだけど、その横の方にあるので（新聞を手にとって）大体のことはわかるから、一番は SO 君とかが言ったように勉強に役立つからなくなったらいけないんじゃないかな。
- 38 NS 新聞は新しいものを紹介したりする役割もある。
- 39 MK 新しい新商品とかを紹介したり、テレビ欄とかもあるから、新しい情報とか載っているからお母さんたちが新しいものを知るのに使う。
- 40 教師 そうなのって、インターネットとかこっちにはないの？
- 41 NH 僕は必要があると思います。発行部数が減っても読む楽しみがあるし・・・
- 42 SH 私は必要があると思います。今は PC とかインターネットとか使う人が多いかも知れないけど、わざわざ PC とか開いて見るのは大変で、新聞だとそのまま見られるから必要だと思います。
- 43 SO 昔の人は機械がなかったから苦手な人がいるし、パソコンだと開く時間とかがるけど新聞だとすぐにわかるから必要だと思います。
- 44 NR 新聞社の人たちが生活に困っちゃう。
- 45 教師 みんなの意見を聞くと、つまり、新聞の方が・・・なんなの？ （楽に見られる）（詳しく載っている）（その次のページに詳しく載っている）（もし詳しく知りたかったら次の面とか見ればいから） そういうところがみんなが必要があるよっていつている。それは Ok ？ じゃあ、その他の面ではどうでしょう？
- 46 IR 仕事などで新聞を必要にしている人がいる。お悔やみとか・・・。
- 46 教師 IR 君の言っていることわかった？
- 47 SO ええと、自分の言い方でいうと、仕事をする人で、自分で新聞で情報を見て仕事をする人がいるから必要だということ。
- 48 HS 新聞の情報は、経済とか、仕事とかに使われていることもある。
- 49 OM テレビだとお母さんは忙しくて時間がないけど、新聞だといつでも見られるから必要。
- 50 OS 質問なんですけど、新聞と一緒に来る広告とかがなくなったら困っちゃう。そういうのもなくなるんですか。 お母さんはいつも広告を見て、「これが安いから」とか言っている。
- 51 教師 新聞よりも広告が大事っていうこと？（そうじゃないけど、広告も大事）じゃあ、楽しみじゃないけど、必要性があるっていうことかな。
- 52 TY 朝、どんなことがあったかを見るから必要。
- 53 SM 新聞がないと地域のことなど情報が足りない。
- 54 MK 東日本大震災の時に、携帯とか PC とか全部使えないときは、情報を伝えるのは新聞しかなかった。
- 55 SO 電力がなくなったら新聞しかない。
- 56 OS 東日本大震災の時のように、電力がなくなっても新聞はペンと紙があれば書けるから（石巻日日新聞のことを学習していた）、あとはその場所に行って取材

	をして見て書けばいいから、そういうときはテレビよりすごい必要じゃないかな。
57 教師	<u>渡辺さん（新聞記者）から教わったことで、新聞手帳に何か書いてあるって言ったよね。（真実を書く）</u>
58 MK	ええと、本当のことを書かないと新聞は始末書とかを書かないといけないけど、テレビだと間違っただけだと、「今の情報は正しくなかった」って訂正しなければいけないけど、言えればいいから、新聞は間違えると大変なことになるから、本当のことを書くから信頼できる。一度書いたらずっと残っているから。
59 教師	「真実」っていう面から新聞は必要っていうこと？（うん）
60 NH	平成 6 年に松本サリン事件があって、たぶん渡辺さんはこれを取材したんだと思うけど、新聞社は河野さんを犯人扱いしてしまっただけで、実の犯人はオウム真理教で、新聞はお詫びとかそういうのを書かないといけないから、でもテレビだと、「間違えました」って言うだけだから、新聞の方が詳しく正しいことを書いていると思います。
61 MK	お詫びを書かないといけないってことで、テレビも間違えたけど、新聞が間違えたことはそのままずっと残っちゃうから、必ず正しいことを書かなくちゃいけない。
62 教師	必ず正しいこと。
63 SM	<u>つまり、情報はテレビ一つだけじゃなくて、2 つ以上の情報が必要。</u>
64 SH	新聞は 2 つ以上のことを調べているから信じられる。
65 教師	そういうこと？ SM さんもう一回言ってくれる？
66 SM	情報はテレビ一つからよりも、新聞とか 2 つ以上から受け取った方がより確実になる。
67 教師	言っていることわかる？（テレビだけじゃなくて、それと比べて、調べてみる、2 つ以上の情報を比べた方が信じられる）

② 授業を振り返って

新聞の有用性について「新聞を読むのを楽しみにしている人々がいる」という視点からの発言が続く中で、29 OS「・・・新聞は地域のこともいっぱい載っているけど、テレビだと地域のことはそんなになくて、地域のことを知れるから新聞は必要だと思うし・・・」と、「地域の情報」という視点に触れた発言があった。教師はこの段階ではまだ様々な面からの新聞の有用性を子どもたちが出し合っている場面であるととらえて、学習課題として切り込んでいかなかった。しかし、その後、「お年寄りにとっての楽しみ」「機械操作の煩雑さがないこと」など一通りの有用性が出された後での教師の出に問題があったと感じる。45 教師「みんなの意見を聞くと、つまり、新聞の方が・・・なんなの？（楽に見られる）（詳しく載っている）（その次のページに詳しく載っている）（もし詳しく知りたかったら次の面とか見ればいから）そういうところがみんなが必要があるよっていつている。それは Ok ？じゃあ、その他の面ではどうでしょう？」これがそのときの教師の出であるが、それまでの子どもたちから出された新聞の有用性を一旦まとめている場面である。その中に 29 OS から出されている「地域の詳しい情報」という、その後の展開に最も重要な項目が抜けてしまっているのである。まとめが教師の意図のある本時の主眼に迫るための

まとめになっていなかった。もしも、この教師の出の中で、「地域の詳しい情報を得られることが新聞の必要な理由である」ということを子どもたちと確認し合えたのなら、そのときこそ、学習材『はらむらコロッケ』の記事を提示できるタイミングではなかったろうか。「その他の面はどうでしょう？」と返すのではなく、「地域の詳しい情報があるってことで、そういうのが本当にあるの？」と問い返して、「地域情報の有用性」へと学習を深めさせていきたくかった。その出がなかったために、その後の授業は「地域」へは向かわずに、「複数の情報が存在することの有用性」へと向かっていくことになる。

実際、本時の次の時間に当初考えていた展開に組み直して、『はらむらコロッケ』の記事を学習材として提示してみた。以下はそのときの子どもたちの様子である。

<p>教師 SO SH NR HS</p>	<p>この記事を読んでみてどんなことを感じますか？こういう記事は必要ですか？ 私は必要だと思う。この記事を書いてもらった原村の人たちは嬉しかったと思う。自分たちの村のことが記事になって、自分たちのやっているコロッケが有名になるかもしれないから。 原村の人も嬉しいけど、この記事を読んだ人も「このコロッケを食べてみたいな」と思う人もいて、新聞を読んで元気なるかもしれない。 新聞の記事で原村の人と読む人がつながっている。 この新聞記事で原村が活性化するかもしれない。地域が混ぜられているような気がする。</p>
<p>教師 NH</p>	<p>「活性化」って難しい言葉だね。どういうこと？ (辞書を調べて)「ものごとが動き出すこと、反応すること」</p>
<p>教師 SS HM</p>	<p>さっき、HS君が「地域が混ぜられているような」って言ったね。この一つの記事によって多くの人が嬉しくなったり、実際に動き出すかもしれないってことかな。 地域が元気になるっていうこと。 渡辺さんが言っていた「地域を元気にする」っていうことだと思う。石巻日日新聞みたいにその記事を読んだ人を元気にする力がある。だから僕は新聞はやっぱり必要だと思います。</p>
<p>教師 OM</p>	<p>なるほどね。今までに新聞を読んで元気になったことなんてありますか？ 新聞に陸上大会とかテニスの大会とかの結果が載っていて、お姉ちゃんのこととかが書いてあって、それを見るのがとても嬉しくなるから、そういうことまで載せられる新聞は必要だと思います。</p>
	
<p>2 / 8</p>	
<p>渡辺記者（信毎岡谷支局長）から新聞記者の仕事について聞く子どもたち</p>	

この記事が学習材として提示し、じっくりと時間を取って読んだ後、記事について話し合ったことで、この一つの記事が人々にどのような影響を与える可能性があるかクラスみんなでも話し合うことができた。岡谷精密工業の学習の時のように、学習材を情緒的な理解で終えてしまうのではなく、一歩踏み込んで子どもたちが考えを話し合うところまでもっていくことが大切だと感じた。そうした考え合った上での理解があっただけで始めて子どもたちの心にいつまでも響く『燠（おき）』になり得るのだと思う。

四 研究のまとめ

「学習材」の大切さについて実感した一年であった。しかし、「学習材」を決め出すことはとても大変なことである。教師として子どもたちに何をこの学習で伝えたいのか（教材の価値）を明確にしていくこと、そのためにはこの学習材で本当によいのか、そこまで突き詰めて考えた上で子どもたちと日々の授業で真剣に向かい合っていかなければならないと感じた。それは授業だけでなく、日々の子どもたちへの声がけ一つとってもそうであろう。そんな一言を発することのできる教師になりたいと思っている。

新聞記事を授業の「学習材」として利用することはこれからも多いと思う。まずは教師自身が心を揺さぶられたり、見方を広め、深められたりする記事に多く接する必要がある。そのためにも新聞をしっかりと読んでいきたいと思っている。教師にとっても子どもたちにとっても新聞がより日常的に、身近な存在になるように心がけていく必要がある。

五 残された課題

- 1 研究でも明らかになったように、授業の「学習材」として新聞を活用するときには、その記事をじっくりと読み合い、問い合い、吟味し合う場を大切にしていきたい。
- 2 新聞が子どもたちにとってより身近で、気軽に利用できるものとなるよう、新聞を設置する場の工夫、得た情報から子ども同士、教師も巻き込んで思っていることを交流する場も更に工夫をしていきたい。
- 3 以上のような環境を整えるためには、学校にいくつもの新聞があることが最低条件となる。各クラス1紙とまでいかななくてもよいが、学年に1紙ていどの提供を新聞社にお願いしたい。